

平成 21 年 4 月 27 日

地域の皆様へ

八王子市青少年対策中山地区委員会  
会 長 篠原由紀子

## サバイバルゲーム事業者「トリガートーク」 ——事業全面撤退—— 報告 No. 2

日頃、地域の皆様には八王子市青少年対策中山地区委員会の活動にご協力とご理解を頂きありがとうございます。

また、この度の中山地区「サバイバルゲーム場事業展開中止」に向けて署名、事業説明会、活動資金への寄付等多大なるご協力、お力添えを頂きお陰をもちまして「事業全面撤退」という結果に達することができました。改めまして地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

去る 4 月 22 日に「中山地区サバイバルゲーム場開設に対する中止申し入れ」の話し合いが事業者、地権者代表と中山青少年対策代表との中で行われました。

ここでは争点である「なぜ保育園、小中学校が近くに在り、宅地が隣接しているこの文教地区にサバイバルゲーム事業を展開するのか」という問い一点に絞り、理解をして頂くべく率直な思いをベースに話しを進めてまいりました。

また、4 月 11 日に行われた事業説明会の時に、住民が訴えた切なる思いの声、問題点をしっかり受け止め考えて頂き「撤退」という結論に達してほしいと願い言葉を重ねてまいりました。

その結果「事業予定地の際を保育園児の散歩、住民の方が歩くという事実関係を確認したこと、また地域の御理解及び御協力が得られなければ、環境保金を前提にした事業展開には不都合な場所」と判断し、中山地区からの撤退に至ったということでした。

ただ、私たちはこれまでの経緯を考えていく中で地主さんの声が原点にあること。そして、そこを外しては本当の意味での収束はないと考えています。

地主さんの声とは、心ない人の山への不法投棄及び、非常識な竹の切り方、昼夜問わず枯れ葉への苦情など・・山林を維持、管理していく中で大変な御苦労だったということです。

今回の事業者は「山林を保全しながら、サバイバルゲーム事業を展開していく」という当初の約束に基づき契約を交わし事業開設に向けて動き出したということでした。

しかし、事業内容がこの中山地区では不適切であり、事業撤退という結論になった今、原点の問題である地主さんの声、ご苦労のみが何ら解消されることもなく残ってしまいました。

私たちは代案なき反対ではいけない・・とずっと考えていました。失いかけて初めて気がついた、この山、緑、白然がもたらす住環境の良さと心の安らぎ。これらは、子どもたちの健全な育成環境の基盤になっていることは言うまでもなく、住民としても知らず知らずのうちに恩恵を受けていたのではないのでしょうか。

それらへの感謝の思いを何とか力に変えて地域住民が出来得ることを模索し考え行動することが本当の意味での収束につながる・・そう私たちは考えています。まだ草案はできておりませんが、その内容についての提案を次回させて頂きたいと思っております。また、方向性につきましてご意見、具体的な提集事項などがございましたら是非お寄せ下さい。

何卒「代案なき反対」に止まりませんよう、地域住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【連絡先】 八王子市青少年対策中山地区委員会 会長 篠原由紀子 TEL042-635-7756